

産業構造審議会産業技術環境分科会・日本工業標準調査会 合同会議
第8回 知的基盤整備特別小委員会・知的基盤整備専門委員会

(書面審議)

審議期間：平成29年3月13日（月）～27日（月）

議事次第

1. 第2期知的基盤整備計画の見直し（PDCA）について
 - (1) 計量標準の整備計画・利用促進方策の実施状況及び見直し
 - (2) 微生物遺伝資源の整備計画・利用促進方策の実施状況及び見直し
 - (3) 地質情報の整備計画・利用促進方策の実施状況及び見直し

(参考)

これまでの経緯

前回の第7回委員会（平成27年11月開催）においては、第5期科学技術基本計画を見据えた今後の知的基盤の整備について、現在の知的基盤整備計画を着実に実施しつつ、中長期的な視点で、以下の方針を強く意識して整備を推進することを議決した。

① 市場の創出・拡大に資する知的基盤の整備

5年後、10年後といった将来において、産業を興す・産業化する、また国際化・標準化に資することを目指して、産業界での利活用を強く意識した戦略的な知的基盤を整備。

② 安心・安全な社会構築のための知的基盤の整備

直接的な産業利用のみならず、経済・社会的な課題解決を横断的に支え、知的基盤の産学官での活用として、震災等自然災害の被害の軽減、あるいは災害に強いインフラ整備といった、安心・安全社会の構築に必要な知的基盤の整備。

③ 地方の創生・産業再生に資する知的基盤の整備

地域の公設試、大学、自治体等と連携しつつ、ニーズに合致した知的基盤の活用を促進し、地域活性化にも繋がるような知的基盤の整備。